

TARC2017 競技規定

機体：総重量 650 g 以下

○：ボディー直径：2つの異径で、ロケット下部（ロケットエンジンとフィンが装着される部分）は直径42mm以下とし、もう一方はペイロード、緩衝材、高度計を積むことができる直径であること。

ボディー長：どちらの直径のボディーとも150mm以上でかつ全長650mm以上であること。

ペイロード：生卵1個と高度計

生卵は、重量：55g～61g 直径：45mm以下(米国と日本の基準により55gを超え
る質量の生卵が無い場合、近い質量を用意し、測定結果を記載します)

滞空時間：1回目 41秒～43秒
2回目 42秒～44秒

目標高度：1回目 775フィート（236m）
2回目 800フィート（244m）
けされていること。

○回収：本体は二以上に分離して回収されなければならない。ペイロード（生卵と高度計）を含む部分（以下ペイロード部）はパラシュート1個のみで回収され、エンジンが含まれてはならない。また、ペイロード部は分離したほかの部分と接続されてはならない。

ペイロード部以外の部分は安全な回収方法であればその方式は問わない。

またロケットの表面は表面仕上げ（塗料・インク・ラッピングなど）を行ない、基本構成素材の色とは違う色であること。